

参考様式第2号 (表)

整理番号 1-6

調査研究活動記録票

会派名 自民クラブ

活動名	北海道根室市 行政視察	使途 項目	調査研究費
日程	令和 4年 7月 13日 (水) ~ 令和 4年 7月 15日 (金)		
場所等	北海道根室市 ・根室市議会 通年議会研修 ・わんぱーく・海底ケーブル・歴史と自然の資料館・北方館		
参加議員 人数・氏名	5人	辻 泰久、中村裕一、柳田 守、大辻菊美、古川和幸	
目的・ 内容・ 成果	目的 別紙 報告書		
	内容 別紙 報告書		
	成果 別紙 報告書		

会派自民クラブ行政視察報告書

令和4年7月13日から15日までの3日間、北海道根室市を行政視察しましたので、その概要を別添により報告します。

令和4年7月27日

黒部市議会議長 木島 信秋様

黒部市議会自民クラブ

辻 泰久

中村 裕一

柳田 守

大辻 菊美

古川 和幸

1 日程等 (別紙1)

2 主な視察内容

- ① 通年議会の導入経緯及び内容等について (別紙2.3)
- ② 子ども向け屋内遊戯施設「わんぱーく」について (別紙4)
- ③ 海底ケーブルについて
- ④ 根室市歴史と自然の資料館について
- ⑤ 北方館及び根室市北方領土資料館について

3 成果報告

(辻泰久)

- ① 通年議会の導入経緯及び内容等について
地方自治法第102条で通年議会を採用できる。そのメリットは・・・
 - (1) 議長により速やかに本会議を開くことができ、突発的な事件緊急の行政課題に対応できる。(専決処分の範囲の見直し)
 - (2) 必要な案件に対して議会を開催しやすい(市民への情報公開、行政側に都合の悪いことでも迅速に対応が可能)「常任委員会の活性化」(通年で活動可能)
以上のことから根室市では会期制度(自治法第102条の2)の方法ではなく、従来の定例会、臨時会の枠組みの中で緊急議会、休会などの手法を用いている
- ② 子ども向け屋内遊戯施設「わんぱーく」について
ふるさと納税から4億円地域づくり総合交付金から1億円を財源として整備された施設である。子ども及び保護者の遊びを通じた交流と子育て環境の充実を目的として整備された。
本市にも道の駅に子供の遊び場があるが雨の時や冬場などのことを思えばうらやましい施設である。尚、遊び場の道具関係は富山県の業者が納入したとの事である。

③ 海底ケーブルについて

明治30年に根室と国後を結ぶ通信手段として整備された。
本市の富山県北方領土資料室にもその一部が展示されている。久保前根室市議会（保存会会長）から説明を受ける。

④ 根室市歴史と自然の資料館について

レンガ造りの建物は1942年に海軍の通信所として建設され太平洋戦争以後は花咲小学校校舎として利用され1989年に花咲小学校が校舎を新築したので、空き家となった校舎を改修し根室市歴史と自然の資料館として使用している。

根室市の考古資料や根室市の産業に関わる資料などを展示している。特に、根室と北方四島の水産業に関わる資料（漁業、水産業や北方四島で行われていた缶詰事業などに関わる資料）が展示されており石垣市長にお願いして本市の富山県北方領土資料室への展示品の入れ替えをお願いしたところ快諾を得ることができたことは大変な成果であると思う。

⑤ 北方館及び根室市北方領土資料館について

7/15 納沙布岬を訪問小田島館長が勇退され岩山館長に説明を受ける。曇り空ではあったが霧もかからず3.7km先に貝殻島、水晶島がよく見えた。ウクライナの関係でコンブ漁は7/1に1月遅れで解禁になったようであるがサケマス漁や秋刀魚漁への影響が懸念される

（中村裕一）

① 通年議会の導入経緯及び内容等について

根室市議会において通年議会の導入したいきさつ内容等について勉強させて頂きました。メリットとしては、速やかに本会議を開くことができ、突発的な事件緊急の行政課題に対応できること。当局による専決処分が減少することがあげられる。

そしてまた、常任委員会の活性化があげられる。デメリットとしては議員の動静把握と議会日程の調整が難しくなる等である

② 子ども向け屋内遊戯施設「わんぱーく」について

ふるさと納税を財源にして整備された施設である。対象者は小学校6年生までである。本市にも道の駅「KOKO くろべ」に遊び場があるが雨の時や冬場などのことを思えばうらやましい施設である。

③ 海底ケーブルについて

明治30年に根室と国後島をつなぐ通信手段として整備された。本市の富山県北方領土資料室にもその一部が展示されている。

④ 根室市歴史と自然の資料館について

根室市の考古資料や根室市の産業に関係する資料などを展示している。石垣市長にお願いして本市の富山県北方領土資料室への展示品の入れ替えをお願いしたところ快諾を得ることができたことは大変良かったと思っている。

⑤ 北方館及び根室市北方領土資料館について

当日は曇り空ではあったか3,7km先に貝殻島、水晶島がよく見えました。北方館は北海道根室市の根室半島最東端、納沙布岬に位置しており、北方領土返還要求運動の原点の地である。

(柳田守)

① 通年議会 (別紙資料参照)

これまでの行政追認的な機関から、二元代表制としての議会本来の機能を発揮する必要性を背景に地方自治法 102 条を根拠に平成 26 年 9 月から原則定例会(会期)を 1 年とする通年議会を実施。専決処分事項指定の見直しや一時不再議への対応等確認・協議すべき事項はあるが、いつでも議長による議会招集が可能であり、当局による専決処分が減少した。また常任委員会協議会等の新設により議会活動日数が多くなり、より活発化される状況にあると聞く。今任期中に一定の結論を出すとする議会改革特別委員会において、積極的な議論を交わせることに期待する。

② わんぱーく (別紙資料参照)

子ども及び保護者の遊びを通じた交流と子育て環境の充実を図ることを目的として、令和 3 年 12 月屋内遊戯施設「ふるさと遊びの広場・通称わんぱーく」を整備。

総事業費 5 億 1 千 7 百万円、財源根室市応援寄付金(ふるさと納税)・地域づくり総合交付金(北海道)、延床面積 916.30 m²(1 階 838.65 m²、2 階 77.65 m²)、遊具ネット遊具、タワー付きチェウブスライダー、クライミングウォール等、対象者小学 6 年生まで、利用形態午前 1 回、午後 2 回の各 1 時間 15 分のクール制採用(各 50 人限度、最終 16 時 45 分まで)

③ 海底ケーブル

正式名は、根室国後海底電信線陸揚施設。明治 30 年当時の通信省により、根室村ハッタラ浜—国後島ケラムイ間(国後・択捉間も同時設置)に設置され、島への通信手段となった。このことは北方四島には当時から日本人が住居し、四島が日本固有の領土であることを世界に示すことができる貴重な証拠の一つとされる。平成 25 年敷地・建物を根室市が民間人から買収した。

④ 根室市歴史と自然の資料館

この資料館の建物は、昭和 17 年に大湊海軍通信隊根室分遣所として建設されたもので、歴史的に貴重な建物である。館内にはチャシ跡の地形模型や遺跡から出土した資料など歴史・自然資料が展示されている。また、西月ヶ岡遺跡等擦文文化期の遺跡やオホーツク文化(6～9 世紀)を示す資料など根室及び周辺の貴重な歴史・自然が解った。さらには、明治 15 年から 19 年までの北海道 3 県時代(函館県・札幌県・根室県)の資料があり、当時の釧路、紋別、占守島までを行政圏としていた往時の根室の勢い・繁栄を改めて感じた。

⑤ 北方館及び根室市北方領土資料館

7 月 15 日に北方館を訪れ、曇り空の中貝殻島がくっきりと確認できた。姉妹都市根室市を持つ黒部市の一員、更には県下一の引揚者を要する市民の一人として改めて、北方領土返還要求運動の先頭に立つべき覚悟を固めた。また、北方領土資料館は返還要求運動の一助となる資料を多数要しているが、生地に県外唯一の資料館を持つ本県の資料館資料の充実も必要不可欠と痛切に感じた。

(大辻菊美)

① 通年議会の導入経緯及び内容等について

二元代表制としての議会本来の機能を発揮するための改革の必要性等で通年議会の検討が始まった。通年議会(通年会期制)の実施。定例会を年 1 回とし、会期を通年にすることで、議長により速やかに本会議を開くことができ、行政課題に対応できる。専決

処分の範囲の見直しができる。常任委員会が通年で活動可能となって活性化が図られる。本市でも検討すべきと思った。

② 子ども向け屋内遊戯施設「わんぱーく」について

子育て支援の一つとして、令和3年12月に子ども向け屋内遊戯施設「ふるさと遊びの広場」愛称「わんぱーく」が整備された。遊べるスペースでは①遊戯スペース②小さな子どもの遊び場③フリースペース④ネット遊具があり天候に左右されることなく自由に遊べるができる。授乳室や見守りスペース等があり親子で安心して利用できるようになっている。本市においても天候に左右されずに遊べる場所があれば子育て支援に繋がると感じた。ただ、財源のことを考えると、「わんぱーく」はふるさと応援寄附金、地域づくり総合交付金で建設され、維持管理費も応援寄附金で賄われている。本市においてもふるさと納税にもっと力を注いでほしいと感じた。

③ 海底ケーブルについて

戦前、ケーブルは、根室から国後島を經由して択捉島まで繋いでいた。通信連絡手段として重要な役割を担っていて島民たちの生活には欠かせないものであった。「四島に日本人が住んでいた」ことを示している。改めて「北方領土が日本の領土」であることを国内外に発信し続けて訴えていかなければと感じた。

④ 根室市歴史と自然の資料館について

根室の考古資料として縄文時代、オホーツク文化期、擦文文化期、アイヌ文化期が時代ごとにわかりやすく紹介されている。アイヌ民族が砦や祭祀などで使用していたチャシ跡、32箇所が残っていて多くは国指定史跡に指定されている。自然に関する資料では、海の動物、陸や鳥たちの剥製や毛皮が展示されていて触って学べるができる。根室の歴史や自然に関することが1箇所学べる。小学校と隣接していることで子供たちがいつでも根室の歴史に触れることで偉人たちの功績をいつまでも後世に伝えられていくと思った。

⑤ 北方館及び根室市北方領土資料館について

資料館、「北方館・望郷の家」の目の前には、日本固有の領土である北方の島々が見渡せる。手を伸ばせば届くような位置である。館内には、島の地図に生活していた住民の名前が記されている。生地地区によくある名字が何件もあり元島民と黒部市との深い繋がりが分かる。北方領土返還要求署名コーナーでは一日も早い返還を願うために多くの方が署名をしていた。戦後77年が経過、元島民の方、二世の方のためにも早い返還を願っている。

(古川和幸)

① 通年議会の導入経緯及び内容等について

平成21年12月より特別委員会を設置し、2つの小委員会に様々な議論を含め89回開催し審議を重ね、通年議会へ移行。途中議員定数の見直し等様々な条例を踏まえ、平成24年12月議決(平成25年3月1日施行)、定例会を年1回とし、会期を通年とする。メリットとしては、議長により速やかに本会議の開催や突発的な事件や緊急の行政課題に対応できる(専決処分範囲の見直し)デメリットとしては行政側での専決処分の問題・議会対応が増、議員の動静把握や日程調整が難しい。しかし市民にとっては議会の動きや市議の活動等が分かりやすい事が期待できる。通年議会は、行政側との緊張感の維持や・市民に開かれた議会の効果が高いと思われる。

② 子ども向け屋内遊戯施設「わんぱーく」について

子育て支援や子育て環境の充実と共に、公園施設の健全な発展と市民福祉の推進に寄与する事を目的として「ふるさと遊びの広場（愛称：わんぱーく）」を整備。

※総事業費 5.17 億円：根室市（ふるさと応援寄付金）4.17 億・地域づくり交付金（北海道）1 億

最新の遊具（ネット遊具・タワー付チューブスライダー・クライミングウォール）が満載ではあるが、注目すべきところは施設設備である。授乳室（2つ）子供の年齢に合わせた遊びスペース（幼児・年少・年長）保護者用のフリースペース・館内 Wi-Fi 完備など至る場所に、利用者目線での工夫や配慮等が多くされていた。（コロナ対応に合わせた人数制限あり）

③ 海底ケーブルについて

根室国後間海底電信線陸揚施設は、根室市（根室村ハッタラ）～国後島ケラムイ間を繋ぐ海底ケーブルの陸揚施設で明治時代に旧逓信省により設営され、通信連絡手段として重要な役割を担っていた。（一部択捉島まで）この施設は、かつて「四島に日本人が住んでいた」ことを示す証拠であり、当時の姿を残す、数少ない非常に貴重な建物である。又「北方領土が日本の領土」であることを国内外に発信し続ける事が重要であることから、平成 25 年に根室市が施設と土地を所有者より購入し、保存・整備を行っている。

④ 根室市歴史と自然の資料館について

当施設は、レンガ造りの建物で 1942 年に大湊海軍通信隊根室分遣所として建設された。太平洋戦争以後は小学校校舎として利用されて 1990 年に改修され、現在の根室市郷土資料保存センターとなる。（2004 年博物館施設）館内には、根室と北方四島の水産業に関わる資料や、根室の開拓・酪農に関わる資料が多く展示されている。中でも、旧樺太（サハリン）の日露国境標石が展示されており、これは世界に 4 個あるうちの 1 つ（1 つはサハリンに展示、1 つは破壊、1 つは個人所有）この標石は、日露戦争後の条約に基づいて設置された、歴史ある標石とされており、あらためて、先人達の功績を称えたい。

⑤ 北方館及び根室市北方領土資料館について

北方館(1981 年開設)は、北方領土返還要求運動の発祥の地で、北方領土問題の発生の状況や歴史的経緯資料を展示し、望郷の家(1972 年開設)は、戦前の島民の生活関連資料や島々の街並みや住居棟の地図等、北方領土の歴史や生活資料が展示されている。又当日、施設前にある納沙布岬では、齒舞群島(延長線上 3.7km の沖合)の貝殻島・水晶島・秋勇留島等が肉眼で見る事が出来た。

北方領土資料館は、元島民の早期返還の願いを込めて、昭和 54 年に建設され、当時の島民の生活様式や、立体パノラマ、返還運動の歴史など多くの資料が展示されている。

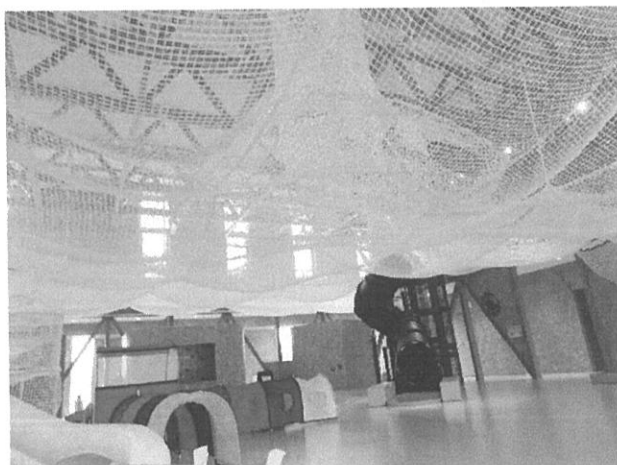
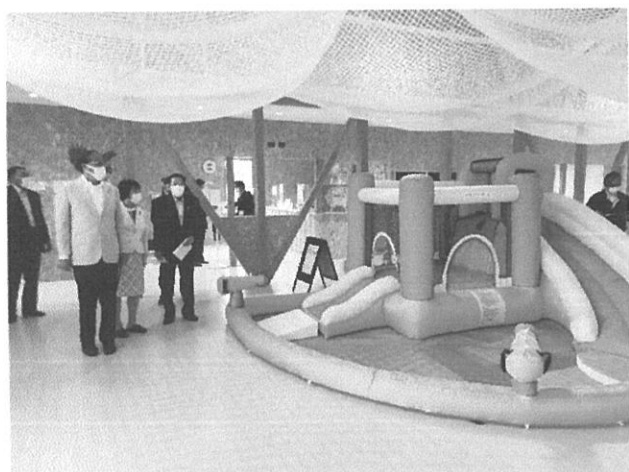
黒部市根室市の姉妹都市提携(昭和 51 年 10 月 19 日)から、約 45 年の歴史において北方領土問題・返還運動に関して、改めて断固たる決意を持ち、前進していく覚悟が来た。

4 視察写真等

① 通年議会の導入経緯及び内容等について



② 子ども向け屋内遊戯施設「わんぱーく」について



③ 海底ケーブルについて



④ 根室市歴史と自然の資料館について



⑤ 北方館及び根室市北方領土資料館について



黒部市議会（自民クラブ）視察行程表（令和4年7月13日～15日）

日程	開始	終了	項目	目的地等
7月13日 (水)	12:20	14:00	飛行機	羽田空港 → 中標津空港
	14:20	16:00	貸切バス	中標津空港 → 根室市
	16:00	18:15	ホテル	●イーストハーバーホテル
	18:15	18:30	タクシー	イーストハーバーホテル → あんくる&チボリ
	18:30	22:30	懇親会	●あんくる&チボリ
7月14日 (木)	9:15	9:30	貸切バス	イーストハーバーホテル → 根室市役所
	9:30	10:30	視察	■通年議会
	10:30	11:00	表敬	●市長、副市長
	11:00	11:10	貸切バス	根室市役所 → わんぱーく
	11:10	11:40	視察	■わんぱーく
	11:50	12:00	貸切バス	わんぱーく → 八文目
	12:00	13:00	昼食	●八文目
	13:00	13:10	貸切バス	八文目 → 海底ケーブル
	13:10	13:20	視察	■海底ケーブル
	13:20	13:40	貸切バス	海底ケーブル → 歴史と自然の資料館
	13:40	14:40	視察	■歴史と自然の資料館
	14:40	14:45	貸切バス	歴史と自然の資料館 → 花咲港車石
	14:45	15:30	視察	■花咲港車石
	15:30	15:50	貸切バス	花咲港車石 → イーストハーバーホテル
	15:50	17:45	ホテル	●イーストハーバーホテル
17:45	18:00	タクシー	イーストハーバーホテル → すしもと	
18:00	20:00	懇親会	●すしもと	
7月15日 (金)	9:00	9:30	貸切バス	イーストハーバーホテル → 北方館
	9:30	10:30	視察	■北方館
	10:30	11:00	貸切バス	北方館 → 駅前
	11:00	11:30	土産	●駅前
	11:30	11:45	貸切バス	駅前 → スワン44ねむろ
	11:45	12:45	昼食	●スワン44ねむろ
	12:45	14:15	貸切バス	スワン44ねむろ → 中標津空港
	14:15	14:45	搭乗手続	●中標津空港
14:45	16:40	飛行機	中標津空港 → 羽田空港	